

# 公立はこだて未来大学 地域交流フォーラム



## 開催のご案内

未来大学と地域の方々との交流を目的とした標記フォーラムを開催いたします。本学は地域の皆様に支えられ開学10周年を迎えました。次の10年を見据え今回は学長以下本学教員・学生が「未来大学の今」をご紹介します。地域の発展に貢献して行くための基本姿勢、これまでの実践例、そして新たな連携が期待される研究シーズなど、分かり易い発表・展示に心掛けお待ちしております。

時節柄お忙しいとは存じますが多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

◆ 日 時	2011年2月17日(木) 13:30~17:00 (開場13:00)
◆ 会 場	ロワジールホテル函館 (JR函館駅前) 函館市若松町14番10号 TEL: 0138-22-0111
◆ 参加費	無 料
◆ 主 催	公立はこだて未来大学
◆ 申込方法	裏面申込書に必要事項をご記入のうえ、共同研究センターまでご連絡ください。

## プログラム

13:00 開場・受付開始

13:30 開会・挨拶

公立はこだて未来大学 共同研究センターセンター長  
情報アーキテクチャ学科 教授 高橋 修

13:35 基調講演 「未来大学の研究戦略」

公立はこだて未来大学 学長 中島 秀之

14:10 講演 「未来大学の10年と社会連携」

共同研究センター 特任教授 田柳 恵美子

14:40 事例1

**未来大学が戦略的に進めている3つのMIT研究シーズ事例**

マリンIT 「海を知り、海の幸を味わおう！」

情報アーキテクチャ学科 准教授 和田 雅昭

15:00 休憩

15:15 事例2 メディカルIT 「医療を柔らかくサポートする新たな試み」

情報アーキテクチャ学科 准教授 美馬 義亮

15:35 事例3 モバイルIT 「函館から世界へ発信するスマートシティ構想」

複雑系知能学科 教授 松原 仁

15:55 紹介 「未来大の産学官連携・知財活動」

共同研究センター運営委員長・複雑系知能学科 教授 三上 貞芳

16:15

ポスターセッション

●事例1~3のパネル展示と学生によるプロジェクト学習の成果発表

17:00

終了

### 3つのMITシーズ発表者プロフィール

「マリンIT ～海を知り、海の幸を味わおう！～」

情報アーキテクチャ学科 准教授 和田 雅昭

■プロフィール

1993年北海道大学水産学部卒業後、12年間（株）東和電機製作所に勤務。2004年、北海道大学大学院水産科学研究科博士後期課程修了（社会人特別選抜）。2005年はこだて未来大学着任。情報処理学会山下記念研究賞等受賞。

■専門分野：

センサネットワークシステム、エンベデッドシステム

■研究テーマ等

水産業における情報技術の活用、効率化をテーマに研究を進めており、漁業者がリアルタイムで水温を観測できる「水温観測ブイ（ユビキタスブイ）」を開発し、全国で利用されているほか、海上でインターネットに接続可能なマリンブロードバンド構築の研究にも携わっている。

「メディカルIT ～医療を柔らかにサポートする新たな試み～」

情報アーキテクチャ学科 准教授 美馬 義亮

■プロフィール

1984年東京大学理学系大学院情報科学専攻（修士課程）終了。日本IBM東京基礎研究所研究員を経て、2000年よりはこだて未来大学講師となり、2005年助教授、2007年現職となり現在に至る。2007年度情報処理推進機構未踏ソフトウェア創造事業プロジェクトマネージャー。

■専門分野：

インターネットテクノロジー、ユーザインタフェース技術

■研究テーマ等

一貫して、コンピュータを使いやすくすること、人間の役に立つために効果的に利用する方法を研究テーマとしている。対話的なシステムを用いて様々な現実世界に存在する作業環境の改善に取り組み、デザイン手法による病院の環境改善案を行う。また、コンピュータと対話する中で新たな発想を生み出す表現・発想支援システム開発にも携わっている。

「モバイルIT ～函館から世界へ発信するスマートシティ構想～」

複雑系知能学科 教授 松原 仁

■プロフィール

1986年東京大学大学院工学系研究科情報工学専攻博士課程修了。工学博士。通産省工業技術院電子技術総合研究所（現・産業技術総合研究所）を経て、2000より現職。NPOロボカップ日本委員会会長、観光情報学会副会長などを兼務。

■専門分野：

人工知能、観光情報学

■研究テーマ等

コンピュータ（機械）に知能を持たせる、あるいはコンピュータを（反面）教師として人間の知を探究することを目指し、人工知能の研究に従事。また、観光情報学の研究を進めており、広い意味での情報技術を用いて函館を含む北海道の観光をもっと魅力的なものにすることを目指している。情報技術によってはこだてを変えることを具体的に目指すNPO「スマートシティはこだて」の設立を中心になって進めている。

### 参加申込書

公立はこだて未来大学 共同研究センター 行

(FAX: 0138-34-6564 または E-mail:center-ml@fun.ac.jp)

企業・団体名:

TEL: ( )

申込担当者氏名: 役職 氏名

E-mail

参加者所属・役職	参加者氏名

申し込み・お問い合わせ 公立はこだて未来大学 共同研究センター

TEL: 0138-34-6549 FAX: 0138-34-6564

E-mail:center-ml@fun.ac.jp